柳城

Ryujo

創立111周年　柳城学院報　第54号

発行所：学校法人 柳城学院　〒466-0034 名古屋市昭和区明月町2-54 TEL.052-841-2635 FAX.052-841-2697　発行者：森 紀旦　2009年8月15日

1937（S12）名古屋城にて本園・分園の合同親子遠足

～「柳城」の由来～ 1898年（明治31）
名古屋城下の武家屋敷にあった幼稚園と養成所の名称について初代校長マーガレット・M・ヤング先生は、当時のヨハネ教会伝道師・山崎友吉氏らと相談し、名古屋城の別名から、その名をつけたと言われている。

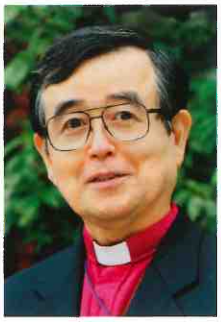
目次

理事長メッセージ……2
学長メッセージ……3
新任（専任）教職員紹介
就任にあたっての抱負……4
退職にあたって……5
●特集……6
・「柳城学院のあゆみ」……6
●法人News……7
・聖書のことば……7
●短期大学News……8
・辰巳芳子先生教育講演会について……8
・「図書館便り」
辰巳芳子先生来館記……9
・創立110周年記念研究紀要……9
・紙芝居プロジェクト……10
・入試情報……11
・2008年度就職状況……11
・平成20年度私立大学教育研究高度化推進特別補助（教育・学習方法等の改善）に6課題が採択されました。……12
・保護者会News……14
・同窓会News……14
・ホームカミングデーのお誘い……14
●附属幼稚園News……15
・附属柳城幼稚園……15
・附属豊田幼稚園……16
・附属三好丘聖マーガレット幼稚園……17
2008年度会計報告……19
2009年行事予定……20
イベント情報……24

理事長メッセージ

日本聖公会宣教150年と柳城

森 紀旦



2009年。この年を柳城学院は特別な年として迎えております。それは学院創設者マーガレット・ヤング先生が宣教師として属するキリスト教の「聖公会」が日本に来て、150周年となったからです。

日本にキリスト教がもたらされたのは、皆さんご存知のとおり、1549年のカトリック教会でした。戦国時代やその後の長い時代にわたり、多くの残虐な弾圧を受け、消えてしまったかのようでした。しかしながら何と、江戸時代末期から明治時代初期にかけて、潜伏していたキリスト教徒は表に現れ、やってきた宣教師たちに会ったのです。

しかし、日本は禁制下にあったため男性・女性・いたいけな子どもたちが各地で殉教し、イエス・キリストの許に帰りました。従容として死に向かう彼らの深い信仰には教えられること多大なものがあります。欧米列強の激しい非難により、日本はようやく1873(明治6)年に禁止を撤廃したのでした。

150年と数える少し前の歴史になりますが、やはり聖公会のバーナード・J・ベッテルハイムが琉球(今の沖縄)に来て伝道し、聖書翻訳その他の功績を残しています。聖公会がわが国に入ったのは日本が自由になってからではありません。1859(安政6)年、米国聖公会のチャニング・M・ウイリアムズ司祭(後の主教)が長崎に上陸し、禁制下で伝道開始の準備にいそしみました。その後、英国聖公会(国教会)からも重要な伝道団体が来日し、前記のウイリアムズらを中心に日本聖公会の組織が固められていきます。それで、150という年数が使われているのですが、聖公会としてはさらに私たちに関係するカナダ聖公会からも男性・女性の宣教師多くが日本にやってきました。

聖公会のみについて述べましたが、いわゆるプロテスタントと呼ばれる海外のたくさんの宣教師たちがウイリアムズの時代から続々とわが国にキリスト教伝道のため上陸してきたのです。これら無数の、ひたすら上陸してくる海外からの宣教師たちの考え・思い・姿勢を想像すると、わが国へと駆り立てたその強い思いは、聖書の中のイエスの言葉、「地の果てに至るまで、わたしの証人となる」(使徒言行録1章8節)ということだったでしょう。

東洋の信仰であるキリスト教は50年代にはヨーロッパに伝えられ、西洋の衣をまとい、そして日本その他に入りました。まさに日本は「地の果て」だったのです。宣教師の方々はイエス・キリストに生かされ、その命令に激しく促され、欧米文化果てる地、日本に強い使命感をもって次々にやってきたのです。

私たちは彼ら彼女らの宣教師たちの数に圧倒されます。「地の果て」日本に来て見て、更に彼らは「地の果て」を見ました。それは教育的に打ち捨てられていた大人・子どもの「女性」でした。一般の人々から見捨てられていた「小さき人々」でした。16世紀から地の果て日本に押し寄せる宣教師たちのあの激しさ、それは神が愛をもって求める激しさなのでした。それは幼児教育であり、多くの福祉関係の働きとなります。それらが創立111年を迎えた柳城学院に結実していることは言うまでもありません。私たちが常に持つべきもの、いや私たちの中に働いているもの、それはその「激しさ、愛の激しさの求め」です。このことにいつも気づいていくようにしましょう。現代の「地の果て」とは何でしょう。海を渡り上陸する所ではない。この世にあって、「小さきもの・弱くされたもの」です。「はっきり言っておく。わたしの兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは、わたしにしてくれたことなのである」(イエスの言葉)。150周年を迎え、わたしたち柳城学院の働きはこれまでと同様にこの「激しい求め」をもって継続していくのです。あなたも宣教師たちによって神から激しく求められたのですから。

学長メッセージ

充実した学びができるキャンパスに

――2009年度の取組課題――

新海英行

2008年度は、本学の創設110周年を記念してさまざまな事業にとりくみました。いずれも部分的な改正ではありますが、入試制度、カリキュラムが改められ、ピアノサポート講座がスタートし、よい成果をあげています。さらに事務改善の一環として事務組織の変更と人事異動も行われましたし、事務室も改修されました。内外の皆様にご不便をおかけしたこともありましたが、ご理解、ご協力ありがとうございました。本年度もひきつづいてさまざまな課題（昨年度未消化の課題をも含めて）にとりくみ、もっと充実した学びができるキャンパスづくりに専念したいと思います。以下はその主要なものです。実施にあっては関係者の皆様にはよろしくご支援くださいますようにお願い申し上げます。

1．柳城の「建学の精神」は、「愛をもって仕えなさい」です。このキリスト教精神に則った教学と学校運営がいっそう深められ、広げられなければなりません。そのためにも、キリスト教保育を中心とした理論研究や実践的展開が求められますし、授業評価をふまえたＦＤ・ＳＤ（教職員の研究や研修）などの積極的取組が必要と考えられます。

2．学生たちの学習環境のいっそうの整備充実です。昨年度は新入生増加に備えて必要最小限の不具合箇所の修繕等を行いましたが、本年は体育館の耐震工事や一号館バリアフリー化の工事を予定しています。文部科学省への申請が許可されたら夏季休業中が工事の時期にあたります。安全で快適な体育館に改装される日が待たれます。

3．短大と附属幼稚園とのいっそう緊密な連携・協働です。これは、いうまでもなく幼児教育の理論と実践の結合による保育者養成と附属園の幼児教育の深化・発展のためには不可欠の要件です。双方の教員が参加する共同研究、附属園の教員の短大教育への参加がもっと促進されてよいと思います。幼児教育研究所の再開も急務です。

4．社会・地域にひらかれた短大づくりです。昭和区では子育て、福祉、生涯学習など、さまざまなボランテイア・ＮＰＯ活動が盛んにくりひろげられています。こうした市民活動を支援する地域拠点として本学が役割を果たすことができれば、学生たちや教職員にとっても大きな財産となることは間違いありません。

5．人権が大切にされるキャンパスづくりです。「建学の精神」が示すように、学生・教職員がお互いに人権を尊重し、人としての尊厳を認めあい、ほんとうに心をひらいてふれあい、支えあえる絆づくりをしたいものです。そのためにも相談機能の強化など、各種のハラスメントを防止するための何らかの方策をつくります。

6．業務改善の推進です。昨年度からひきつづき、理事会・業務改善委員会の肝いりでＯＡ推進委員会、改善提案制度委員会が発足し、事務系業務のさらなる改善・合理化のために尽力していただいています。大切な情報の共有化、ムダな業務の解消、仕事の流れの円滑化など、多くの成果を期待しています。

7．高校への広報活動にいっそう積極的にとりくみます。18歳人口が減少の一途をたどる近年、大学経営にとってこれまで以上に厳しい時代を迎えています。本学も例外ではなく、受験生の確保（学生定員の充足）のために高校への働きかけや連携を強化しなければなりません。あわせて就職の開拓や指導など、より充実した就職支援にも力を入れます。

8．日本聖公会関係行事への取組です。当面、日本聖公会保育連盟保育者大会が聖公会中部教区が主催し、本学が協力して7月下旬名古屋で開催され、日本聖公会関係学校教職員研修会が8月下旬横浜で開催されます。さらに来年8月には上記研修会が名古屋で予定されています。こうした研修会を成功裏に開催し、「建学の精神」のさらなる深化をはかることが本学にとっても大切な課題の一つです。

以上、いくつかの課題について述べましたが、いずれも学生たちがより充実した学びができる柳城を創っていくうえで欠かせないものです。これらの一つひとつを着実に解決していけるように、学内外関係者の皆様のいっそうのご支援とご協力を切望する次第です。

新任(専任)教職員紹介
就任にあたっての抱負

短期大学

❖村上　誠
教授（図画工作）

絵画・造形が専門です。子どもたちが表現するものの〝不思議さ〟を、学生の皆さんと共に学んでいきたいと思います。柳城学院の一員に加えていただきましたことを、天国のリチャード・メリット先生に、ご報告申し上げます。

❖横井　志保
助教（音楽）

今私があるのはご指導くださった先生方のお蔭と感謝しています。私は先生方がしてくださった様に時間を惜しまず学生の話に耳を傾け、共に泣きそして笑い、夢の実現の為にとことん付き合いたいと思っています。それが恩返しになると信じて。

❖大崎　千秋
助教（介護の基本）

この4月より専攻科介護福祉に赴任してきました、大崎千秋と申します。日々、何事にも前向きな学生と介護について真剣に語っています。確実な技術を提供できる介護福祉士を目指して互いに学んで生きたいと思います。

❖高瀬　慎二
助教（教育方法・技術）

本年度から名古屋柳城短期大学に赴任してまいりました。主に情報教育を担当しています。最近では保育の現場で、基礎的なパソコンの技術が要求されることが多いようです。現場のニーズにあった技能・知識を伝えることができればと思います。

❖加藤　久雄
総務部経理課長

4月1日付けで総務部経理課に特任職員として就任しました。着任後2ヶ月を経過しましたが「未知との遭遇」を繰り返していますので、皆様に何かとご迷惑をおかけしていると思います。現状認識を早くすることで、皆様の何かのお役に立つように努力したいと思います。

❖細川　領
短大　教学部教務課員

本年度から名古屋柳城短期大学職員として勤めさせて頂いている細川領です。
歴史ある柳城で社会人のスタートを切れたことをうれしく思います。仕事に学びつつ、自身も成長していけるように勤めていきたいと思います。

❖日比野陽子
短大　図書館司書

今春4月から名古屋柳城短期大学の職員として図書館に勤務させて頂いております。
図書館は、南向き一面に窓があり、明るく開放的な空間です。私も、閲覧係として皆様に気持ちよく利用して頂けるよう頑張ります。

附属幼稚園

❖柳城幼稚園
黄組担任　青木　万莉

私は年中32名の担任をさせて頂いています。
子どもの発想は豊かで、毎日わくわくしています！
そんな子ども達と笑顔が絶えない温かいクラスにしたいと思います。
自分らしさを生かし、心をこめて保育していきたいです。

❖柳城幼稚園
赤組担任　水野　里香

私は柳城幼稚園で子どもと共に成長したいです。
子どもと関わり、子どもの成長を見ていく中で、子どもから多くのことを学び自分の保育を高める。
そして、経験を積む事で常に子どもにとって一番良い関わりを考えられるようになりたいです。

❖柳城幼稚園
青組担任　山田　彩加

私は28名の年長クラスを担任しています。
毎日があっという間に過ぎる中、神様の愛を感じながら子ども達の元気な姿、笑顔に励まされ、保育が出来る事を幸せに感じています。
笑顔の絶えないクラス、私自身も絶やさずに充実した日々を過ごしていきたいです。

❖豊田幼稚園
たんぽぽ組担任　磯貝早智子

年少組19人の子ども達と楽しく、そして賑やかで、有意義な毎日を送っています。子どもたちが楽しく園生活が送れるように、私がするべきことは何か、ただそれだけを考えて一日一日を大切に過ごしていきたいです。

❖豊田幼稚園
ひまわり組担任　矢部なつき

今年の4月から、新任として年中組23人の担任をしています。とても明るい子ども達に囲まれ、毎日楽しく過ごしています。この1年、一人ひとりの個性や性格を十分に引き出し、笑顔の絶えないクラス作りに努めたいです。

❖豊田幼稚園
ゆり組担任　福田　梨英

保育者になりたいという夢を叶える事ができ毎日、子どもたちや先輩の先生方からたくさんのことを学んでいます。子どもたちの瞳がいつもきらきらと輝くような毎日を過ごせるよう、頑張っていきたいと思います。

❖豊田幼稚園
ちゅうりっぷ組担任　鈴木　貴子

幼稚園就任にあたり、保育の現場から離れていた自分が保育者として再出発出来ることを嬉しく思います。
保育者とし、また子育ての経験を生かし、「子供に愛情、保護者に誠意、保育に情熱」を胸に頑張りたいです。

❖三好丘聖マーガレット幼稚園
たんぽぽ組担任　森次　幸代

十年ぶりの幼稚園復帰です。私も今子育て中であることを生かし、子どもを取り巻く環境の変化を身近に感じとり心の通う保育をしたいと思っています。子ども達に思いやりの心やいたわりの気持ちの育つことが願いです。

退職にあたって

❖短大教授
夏目　恒雄

1973年に旧柳城女子短期大学に新任教師として着任し、35年間お世話になりました。感謝申し上げます。この間6人の学長の下での教育・研究活動でした。柳城での35年間の学びが退職を決意させ、60歳からの生き方が与えられました。それは子ども達や高齢者から社会学・人間学を学ぶことです。ありがとうございました。

❖短大教授
奥　美佐子

光陰矢のごとしと申しますが、柳城での14年間は本当に凝縮した時間軸を駆けたように思います。保育科・専攻科で、保育者を一途に目指しその夢を実現するために励む学生と向き合うことができたことは幸せでした。いつか保育者研修の場で柳城の教え子たちとまみえる見えることを楽しみにしつつ、皆様のご厚情に感謝するとともに柳城学院の益々のご発展を祈念しております。

❖短大准教授
小平　英志

柳城での3年間、非常に貴重な経験をさせていただきました。初めて経験することも多く、最初のころは、教職員・学生のみなさんにご迷惑をおかけすることばかりでした。やっと慣れたころに退職ということで、非常に残念ではありますが、ここで得たものを糧に、新たな職場で頑張っていきたいと思います。今後も何かとお世話になるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

❖短大助手
渡辺　敦子

学生として3年、助手として3年、計6年間柳城でお世話になりました。約8年の保育・介護の現場経験を経て、再度母校に戻って仕事が出来たことを誇りに思っています。未熟で、頼りない私を、先生方、そして学生の皆さんが支え、大切なことをたくさん教えて頂きました。私にとって、かけがえのない宝物です。

これからは、新しい環境の中で、頂いた大切なものを何かのかたちでお返しできたらと思っています。ありがとうございました。

❖附属柳城幼稚園教諭
池田奈緒子

保育って楽しいですよ！子どもは十人十色。だから保育は難しく、そして楽しいのです。たった4年間の保育者生活でしたが、子どもたちに寄り添いながらクラスをまとめていくこの仕事は本当にやりがいがありました。いつかまた大好きな「幼稚園の先生」に戻りたいと思います。こんな素敵な仕事はありません。

❖附属柳城幼稚園教諭
川村　佳子

私は、保育園で6年間勤めておりました。その後、柳城幼稚園で2年間（臨職を入れて3年）勤めさせて頂きました。

実は、学生の頃からこの柳城学院が大好きで憧れており、柳城幼稚園で保育ができる機会を与えて頂いた時は、うれしく思いました。

この2年間を振り返ってみると、毎日子ども達と走りまわったり、いろいろな発見をしたり…本当に楽しかったと思います。時に、くじけてしまいそうなこともありましたが先輩の先生方に導いて頂いたり、子ども達の笑顔に励まされ、楽しくやってこられたと感謝の気持ちでいっぱいです。また、落ち着いて機会があればこの仕事に戻ってみたいと思います。ありがとうございました。

◎学院人事

辞任（2009年2月16日付）
理事　大西　修
就任（2009年2月17日付）
理事　野村　潔
退職（2009年3月31日付）
教授　夏目　恒雄
教授　奥　美佐子
准教授　小平　英志
助手　渡辺　敦子
附属柳城幼稚園教諭　池田奈緒子
附属柳城幼稚園教諭　川村佳子
附属豊田幼稚園教諭　小野田陽子
附属豊田幼稚園教諭　大田久貴
解任
総務部長兼経理課長　中村　雅
採用（2009年4月1日付）
教授　村上　誠
助教　横井　志保
助教　大崎　千秋
助教　高瀬　慎二
経理課課長　加藤　久雄
教務課員　領
図書館員　細川
附属柳城幼稚園教諭　日比野陽子
附属柳城幼稚園教諭　青木　万莉
附属柳城幼稚園教諭　水野　里香
附属柳城幼稚園教諭　山田　彩加
附属豊田幼稚園教諭　磯貝早智子
附属豊田幼稚園教諭　矢部なつき
附属豊田幼稚園教諭　福田　梨英
附属豊田幼稚園教諭　鈴木　貴子
附属三好丘聖マーガレット幼稚園教諭　森次　幸代
任用換（2008年10月1日付）
経理課　加藤　実治
（特任から専任に任用換）
経理課　福田　郁子（〃）
経理課　武藤真由美（〃）
任命（2009年9月1日付）
総務部長兼経理課長　塚田　一宣
任命（2009年4月1日付）
図書館長　尾上　明子
任（2008年10月1日付）
教務課係長　大澤　弘毅
〃　種市　淳子
図書館係長　藤田　憲哉
入試広報課主任　佐藤章裕
昇任（2009年4月1日付）
教授　長根　利紀代
准教授　村田　康常
〃　市原　信太郎
組織改編等による配置転換（2008年9月1日付）
法人事務局担当課長　西　弘美（学長室室長）
総務課係長　渡辺　敏光（法人事務局係長）
経理課　加藤　実治（法人事務局）
教務課主任　種市　淳子（図書館主任）
図書館主任　藤田　憲哉（教務課主任）

特集

「柳城学院のあゆみ」

日系収容所におけるホーキンス先生の働き

本短期大学初代学長フランシス・ベル・ホーキンス（以下ホーキンス先生）は、キリスト教伝道のため1920年に日本に派遣され、幼稚園で長く働いた後、1940年（49歳）、柳城保姆養成所長に就任しました。しかし、翌年、戦争が激しくなったため、やむを得ず一時帰国しました。ここでは、このたびカナダ聖公会アーカイブスの協力により明らかになってきた、その時代のホーキンス先生の働きを紹介します。

そのころ、カナダ、西海岸のビクトリア州では、すべての日系人が海岸線から100マイル以上内陸に移住するよう命じられました。日系漁民が敵国である日本のスパイとして活動するのではと疑われたからです。移住先として、州政府は収容所を急設しましたが、幼稚園や小学校もなく、生活設備も不十分なものでした。しかし、すべてのカナダ人が日本人に厳しい態度をとったわけではなく、多くの宗教団体が日系人の生活や教育の手助けをしました。特に日本語のわかるカナダ人宣教師は大勢収容所へ派遣されました。ホーキンス先生もその一人でした。

写真1、日系人収容所、　タシメ（人口2500）、　1942年
写真提供：カナダ聖公会アーカイブス

ホーキンス先生は、1941年、バンクーバー島に派遣された後、非常に山深い場所にあるタシメ収容所（写真1）に向かいました。先生はすぐにそこで、カナダ合同教会の宣教師とともに幼稚園を作りました。タシメの幼稚園には多いときで200人以上もの子どもがいました。日本の幼稚園と同様に入園式や卒園式（写真2）、遠足もしましたが、とりわけクリスマスは大きな行事でした。

収容所の子どもたちは大人たちが木材を作る製材の様子を見たり、大工仕事を手伝ったり、大自然の中で遊んだりと貴重な体験もしたのですが、ホーキンス先生は、都会から隔絶しているために子どもたちの経験の幅が狭くなることに心を痛めていました。

ホーキンス先生は、収容所において、幼稚園設立のほかにも婦人集会、日曜学校、年配の女性向けの英会話クラスなど様々な活動をして日系人を助けていました。

このような活動をよく思わない同胞のカナダ人も少なくなかったはずです。しかし、ホーキンス先生の手紙には不平不満は一言も見つかりません。日本を'home'と考えていたにもかかわらず、カナダへの帰国を余儀なくされたホーキンス先生には、逆にカナダを母国と感じていながらカナダによって収容されている日系人の苦悩がよくわかり、彼らのために働くことを神様のご意志と感じていらっしゃったのではないでしょうか。

収容所は戦後閉鎖され、1949年、日系人はようやくどの地域でも住むことのできる自由を回復しました。しかしカナダ政府による謝罪（1988年）と補償を受けたのは、ずっと後のことになりました。それは、大変長い道のりでした。

写真2. 幼稚園卒園式　後列左からRev. Gale, Rinko Kojima (teacher), Miss Ryan (United Church missionary), Mae Walker (Anglican teacher), Frances Hawkins (Anglican teacher), Mrs Kimura (teacher), Helen Bailey (Anglican missionary), タシメ, BC, 1941年　写真提供　カナダ聖公会アーカイブス

1947年、ホーキンス先生は日本に戻ってこられ、1953年、「柳城女子短期大学」初代学長に就任し1961年に任務を終えて帰国しました。戦争を挟んで41年間を絶え間なく日本人のために尽くしたホーキンス先生の生き方は、今も私たちに多くのメッセージを送っているように感じます。

（准教授　中根淳子）

法人 News

柳城学院創立110周年記念を終えて

当学院は、昨年（2008年）創立110周年の記念すべき年を迎えました。

110年の長き歴史に感謝すると共に、「柳城」の名を少しでも多くの人々に知っていただくことをテーマとして、110周年記念準備委員会が発足し、様々な記念行事を企画実行してまいりました。

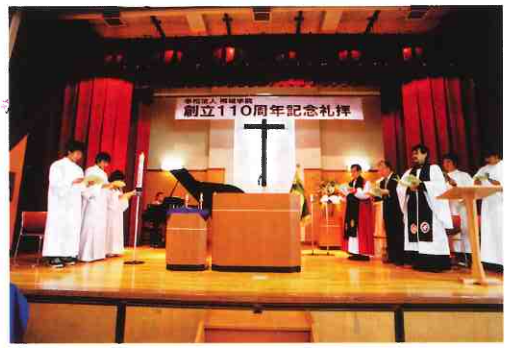
記念諸行事は、110周年記念礼拝と創立者ヤング先生の墓前礼拝を中心に、創立110周年記念講演会（東喜代雄先生「世界の光、日本の希望―幼児の育ち」）、学報（110周年記念号）の発行、校舎壁面の垂れ幕懸垂装置設置、附属幼稚園ホームページ更新、音楽特別講座の立ち上げ（この講座は、入試広報課が中心となりピアノサポート講座として発展、推進されています）、110周年記念クリスマスコンサート等々が、この1年間に実施されました。なお、110周年企画として本学の大先輩である辰巳芳子先生をお招きしての講演会も検討されましたが、スケジュールの都合により延期となり、本年6月6日に「辰巳芳子　教育講演会」として約550名の聴衆を集めて開催されました。

また、本学卒業生である原孝代先生より110周年記念事業の為に多額のご寄附を戴きました。卒業生の「柳城」に対する熱い思いを実感し、有難く拝受いたしました。ご寄附いただいた資金は、学生たちへの奨学金として活用することを考えております。

110年の永きに亘り連綿として紡がれてきた〈愛をもって仕えよ〉の建学の精神と、歴史が輩出してきた多くの先達に深く感謝した1年間でした。

当学院が、更に時代の要請を担い、120周年、130周年、更に200周年の時を迎えることが出来るよう、教職員一同努力してまいりたいと考えています。

（法人事務局長　塚田一宣）



聖書のことば

「風は思いのままに吹く。あなたは、その音を聞いても、それがどこから来て、どこへ行くかをしらない。霊から生まれた者もその通りである。」（ヨハネ福音書3章8節）

「風は思いのままに吹く」。聖書の言葉の中でも、この一句は、私のお気に入りです。「風」という言葉のギリシア語は、「プネウマ」という言葉で、「霊」や「息」も同じ言葉です。風は目には見えないけれど、確かに存在するように、霊もまた存在します。神様の霊は、風のように自由に吹き、私たちに新しい生命を与えてくれます。

私たちは、ややもすれば、自分の考えに凝り固まり、自分中心に物事を見ることが多いのではないでしょうか。しかし、神が創られた世界はそんなに狭くありません。この世界には、異なる民族、異なる言語、異なる文化など、様々な違いをもった人々が生きています。また、私たちの考えや価値観も、時代や環境によって多様に変化します。この様々な違いを受け入れながら、自分たちも変えられていくことが、新たに生まれるということだと思います。私たちは、神様の霊の自由な働きに導かれ、常に新しくされながら、与えられた人生を歩むのです。

理事　野村　潔
（日本聖公会中部教区司祭）

短期大学
News

辰巳芳子先生 教育講演会について

2009年6月6日に名古屋柳城短期大学教育講演会として本学卒業生であり料理研究家として著名な辰巳芳子先生に、「私が柳城で学んだもの」と題し講演を行って頂いたので、その概要を述べさせていただきます。

辰巳先生は講演に先立つ6月5日に雨天にもかかわらず来校され、荻原准教授の授業を参観した後、学内見学を行い歴史資料の閲覧に長時間を費やされた。講演当日は晴天となり、理事長をはじめ柳城学院の教職員並びに来賓の方々と昼食をともにされた。昼食に先立つ挨拶の中で辰巳先生は柳城の思い出、特に第二代学長の坂東きく先生の教えについて熱く語られた。

講演会には全学生、学院教職員、来賓及び一般参加者の併せて約五百名が集まった。84歳というお歳にもかかわらず矍鑠とした態度で主に学生に対し以下のようなお話をされた。

柳城（柳城保育専修学校）で過ごした二年間のことは忘れられない思い出として残っている。

それは坂東校長先生をはじめとする先生方から厳しくも愛情あふれる教育を受けたことによる。厳しさは15名の入学者が授業についていけない人もいて、卒業時には7名に減っていたくらいであった。坂東校長は毎朝登校する学生たちと挨拶されるとき顔をじっとみて学生一人一人の中身をご覧になっていると思われた。これは柳城の保育者養成の基本理念が神に招命されているということにあるからだと思っている。

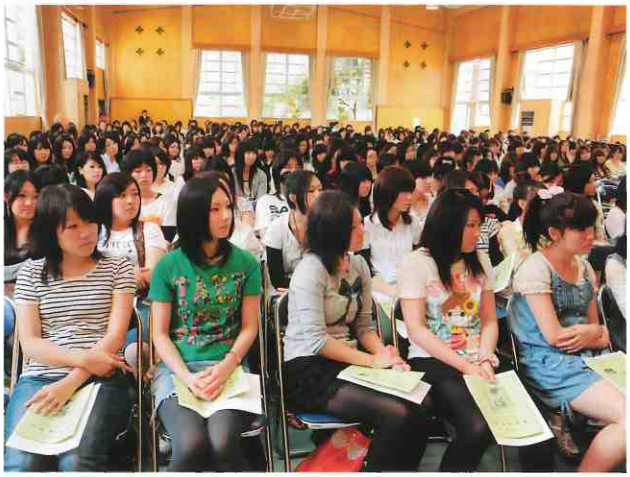
また、現在の自分の考え方、基本姿勢はこの柳城での二年間に受けた教育が根本となっている。つまらないと思うようなことでも後で必ず役に立つことになるのでしっかり勉強してほしいと学生を励ました後、保育者としての基本姿勢を服装、髪型を例にとり次のように厳しく教えられた。いざという時に子どもを守るのが保育者の一番の使命であるが、皆さんの髪型、服装では子どもを守ることが出来ない。走れないような靴もいけないし、髪が顔の前にたれて目に入るような髪形もいけないといわれ、保育者としてのあり方を語られた。

最後に主の祈りを学生たちとともに唱えられたが、本を読むように祈るのではないとして祈りの基本ついてお話になられた。

以上のような内容以外にも食料自給のこと、それが大切であるが故に料理、食にかかわる仕事をしていることなどを、直接学生との対話を通しお話しされた。

ここで講演を聴いた個人的感想を述べることが許されるならば、辰巳先生ご自身が柳城建学の精神が具体的に教育を通して見事に現れた例であり、今後も柳城の教育は常に建学の精神に立ち返ることが求められていると感じた。

（総務課長　中村　雅）



「図書館便り」

辰巳芳子先生来館記

6月5日、梅雨入りを思わせる雨天の中、翌日の講演会のために辰巳芳子先生が来校され、保育科の授業の様子や施設等を見学された後、図書館および歴史資料室にも立ち寄られました。図書館では、辰巳先生の講演会に合わせ、図書館に入ってすぐの展示用書架に、学生に向けて、先生の著書や雑誌記事を並べ紹介していましたので大変喜んでくださいました。紙芝居の所蔵と本学の紙芝居に関する活動について説明したあと、歴史資料室に移動し、館長の案内で本学所蔵の歴史資料を見ながらの懇談となりました。辰巳先生は、以前より本学に来られるたびに、柳城の学びなかでも、特にフレーベルの「マザープレイ」（「母の歌と愛撫の歌」）のすばらしさや、フレーベルの哲学や思想が今日の先生の基盤となっておられることを語ってこられましたので、館長が、明治30年版初版「母の遊戯乃育児歌」第3版、A・L・ハウ発行者、訳者（大和田、柏木、露無の三氏）をご紹介したところ、すぐにその内容と日本語のすばらしさにお弟子さんともどもくぎづけになられたそうです。現代の和訳より、こちらの日本語の方が美しい、柳城に来た甲斐があった。また、同書を復刻しましょうとの話題などで時の過ぎるのを忘れての滞在となりました。

なお、明治30年初版のフレーベルの「母の歌と愛撫の歌」〈写真〉は、フレーベルが当時のドイツの風景や生活を背景に母と子の遊びを言葉と（詩）にし、絵を浪漫派の画家、フィリードリヒ・ウンゲルに描かせたものですが、明治に入り、日本の幼児教育のために来日したハウ女史がこれを日本の風景や装束に描き改めさせた貴重な和綴じの出版物です。歴史資料室にてご覧いただけます。

（図書館）

創立110周年記念　研究紀要

創立110周年記念号の刊行にあたって …… 新海英行

論　文

「祈る人」ホーキンス先生
第1部日系人収容所における働き
第2部ホーキンス先生の贈り物 …… 中根淳子
建学の精神について　―多様性における不動点― …… 村田康常
市原信太郎

歴史資料

ボーマン先生から卒業生への手紙　―服部　冨美　提供による― …… 尾上明子

永見勇学長退任記念

献辞 …… 新海英行
退任記念「最終講義」いのちの始まりと人を育むこと …… 永見勇

一般論稿

論　文

愛知県Ｉ市における民生委員に対しての高齢者虐待の調査から …… 柴田益江
保育所保育指針の改定と保育士の国内研修へのとりくみについて …… 成田朋子
保育のなかの紙芝居　―「紙芝居．ネット」の構築とその役割― …… 鬢櫛久美子
種市淳子

0～3歳児の描画過程で子ども間の模倣は出現するか
―1年間の記録から検討する― …… 奥美佐子
幼児の身体表現活動において発現する双方向的な模倣の機能 …… 鈴木裕子
保育の場における保育者の育ちあいⅡ
―遊び場面の実践記録検討を中心とした学び― …… 平野仁美
小島千恵子
鈴木裕子
気がかりな子どもと保育者の援助についての一考察　～マット遊びを通して～ …… 長根利紀代
保育園・幼稚園における発達障害児の実態調査および専門機関による巡回相談の現状
―N市とT市を中心に― …… 荻原はるみ
幼稚園と家庭との関わり方に関する研究 …… 野崎真琴
介護施設におけるコミュニケーション自己評価の考察　―学生と施設職員の比較― …… 渡辺敦子

名古屋柳城短期大学フォーラム

「手づくり紙芝居の作り方」

紙芝居プロジェクト

●「紙芝居．ネット」にNHKも注目

NHKおはよう日本・まちかど情報室で、紙芝居が取り上げられ、本プロジェクトも取材を受けました。2008年9月2日から3日に数分ずつ3回、本学の名前とともに正面玄関と図書館の紙芝居の書棚などが全国に放映されました。「紙芝居．ネット」へのアクセスは、この日を境に急増し、YAHOO！「今週のオススメ」やFM群馬「サイト911」などでも「紙芝居．ネット」が取り上げられました。また、学生が自作の紙芝居を附属園で実演腕試しした記事が、中日新聞「学生ガイダンス」に掲載されました。

●「紙芝居フォーラム」

フォーラム2008は、絵本・紙芝居作家のやべみつのりさんに、紙芝居の世界に誘っていただきました。「紙芝居の上手な演じ方」、「手づくり紙芝居を楽しもう」、「紙芝居を使ってあそぼう」と3年間続けたフォーラムは毎年小冊子にまとめてきました。講師の先生方からも好評で増刷しました。実費でお分けできますのでご活用ください。

●「手づくりキッズ紙芝居コンテスト」

昨年は遠方からの応募作品や幼稚園のクラス皆で作った作品もあり、力作103点が集まりました。最優秀作品は「手づくりキッズライブ」で公開しています。3年目となる今年どんな作品が寄せられるか楽しみです。＊左欄に今年の募集要項を掲載しています。

●附属園での紙芝居実演会

各附属園とプロジェクトの連携で、講師による紙芝居実演会を夏休み中に実施します。この企画も4年目となり、各園での取り組みも熱が入ってきています。

（プロジェクト実行委員長・鬢櫛・久美子）

紙芝居フォーラム冊子の紹介

２００６年から２００８年まで開催した、紙芝居フォーラムの内容を記録した冊子です。講師の先生方の楽しく貴重なお話や、参加者が当日作った紙芝居作品等を掲載しています。皆さんご活用ください。

St．Mary’s College Forum 2006
紙芝居の上手な演じ方
演じるための５つのポイント
（指導・監修　右手和子）

紙芝居の演じ方ってどんなだろう？声の出し方や紙芝居の動かし方など、紙芝居を演じる時の具体的な技術を紹介します。後半では、その技術を使い実際に紙芝居を演じた様子を再現します。

St．Mary’s College Forum 2007
手づくり紙芝居を楽しもう
紙芝居をみんなで元気に
（指導・監修　長野ヒデ子）

観るだけでなく演じたくなる紙芝居を！色々なタイプの紙芝居の紹介、絵本と紙芝居の違いについての説明の後、紙芝居の作り方を解説します。後半は、参加者が実際に紙芝居を作り演じます

St．Mary’s College Forum 2008
紙芝居を使ってあそぼう
コミュニケーションの道具としての紙芝居
（指導・監修　やべ　みつのり）

参加型紙芝居の実演と、日本とアジアの国のワークショップで実際に作られた紙芝居の紹介を通して、紙芝居を作り、演じることの楽しさを伝えます。最後はミニ紙芝居の作成と実演です。

問合せ先　名古屋柳城短期大学図書館　052-841-2635

手づくり紙芝居募集します

■**募集対象**
全国の幼児～小学生
（個人又はグループ）

■**応募期間**
2009年7月20日～
9月30日（当日消印有効）

■**作品**
・テーマ自由
・画面数は4～10枚程度
・八つ切りの厚口画用紙又は厚口ケント紙を使用
・絵は子ども達に描いて頂き、ストーリーは子どもが書いても、大人が聞き取って文章にしていただいても結構です。

■**賞・賞品**
最優秀賞　1点
印刷した紙芝居と副賞
（二万円分の図書カード）
優秀賞　2点
賞状と副賞
（五千円分の図書カード）
努力賞・奨励賞　数点
賞状

■**お問合せ**
子ども文化と紙芝居プロジェクト実行委員会　キッズ紙芝居係
℡052-841-2635

2008年度最優秀賞
『あなぼこにいるビーダくん』
庄司和佳奈さん（9歳）

附属幼稚園「紙芝居・読み聞かせ会」

恒例の読み聞かせ会です。
講師　清水美智子 先生
（元刈谷市教育委員会読書相談員）

日時・会場
7月31日（金）10:30～11:30　豊田幼稚園
8月25日（火）10:30～11:30　三好丘
聖マーガレット幼稚園
8月31日（月）10:30～11:30　柳城幼稚園

入試情報

保育者を志す高校生に柳城受験をおすすめください。

［厳しさを増す受験生獲得競争］

昨年度もこの学院報で皆様に柳城PRをお願いしましたが、皆様のお力添えのおかげで、たくさんの高校生が本学を受験してくれました。その結果、本年四月には、二〇〇名の定員に対し、二三四名もの入学者を得ることができました。

今、愛知県内には一三の保育者養成の短期大学がありますが、定員を上まわったのはごくわずかな学校のみです。本学は、その中でもトップの定員充足率となっています。多くの皆様のお力添えにより、本学一一一年の歴史と伝統に基づく教育内容が認められたおかげと喜んでいます。

しかし、安心はできません。十八才人口の減少で受験生獲得はますます厳しさを増してまいります。本学とて、いつ定員割れとなるか分かりません。皆様のお近くに保育者を志す高校生がおみえでしたら、ぜひ柳城受験をおすすめ下さい。お願い申し上げます。

［多様な入学試験 ―同窓生推薦入試も―］

本学の入学試験には、公募制推薦A入試（専願）、公募制推薦B入試（併願）、AO入試、一般A入試、一般B入試、特別選抜入試、特別推薦入試等の試験区分があります。この中の特別推薦入試には「同窓生推薦入試」が含まれています。これは、本学を卒業されたお方のお子様、お孫様、ごきょうだいを推薦していただく入試方式です。本年度はこの同窓生推薦枠で四名の方が入学してこられました。

入試に関する相談やお問合せは、入試広報課で行っています。お気軽にお電話下さい。

［保育者を目指すなら 名古屋柳城短期大学です］

歴史と伝統に基づく本学の教育内容は、保育の世界で常にリーダー的役割を果たしてきていると自負しています。

就職に際しては、毎年、五百五十件を超える求人票を幼稚園や保育園からいただき、就職率は常に一〇〇%です。特に、保育職を希望し就職していく学生が全就職希望者の九八%を占めることは、全国的にもあまり類のないすぐれた数値です。

実習先や就職先の園長先生からは、「柳城生はまじめで明るく素直」「保育に取り組む姿勢が良い」「保育の内容を豊かに受けとめることのできる基礎的な力を持っている」などと高い評価をいただいています。

保育者を目指すなら、豊かな実践力を身につけることのできる、温かい雰囲気の名古屋柳城短期大学です。

お近くの高校生の皆さんにぜひ柳城受験をおすすめ下さい。

（入試広報課）

2008年度就職状況

一般社会での不況下、就職状況が厳しい中にあって、本学の就職率は非常に好調で、依然、一〇〇%を維持しています。

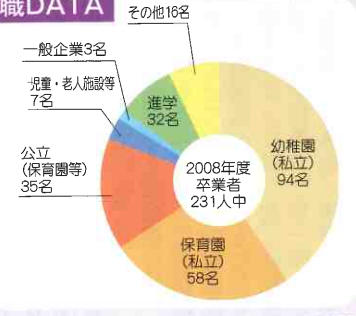
保育科・専攻科の学生を合わせて二三一名が卒業しました。そのうち一九七名が就職を希望し、全員が自分の希望する職種に就きました。

就職課では、一年生の後期から一年間、マナー・小論文・履歴書・実技など、きめ細かく就職支援を行ってきています。とりわけ、面接対策については、最重要課題ととらえて、学生一人ひとりに個別指導の時間をできる限り確保しています。また、教員には、アドバイザーとして就職課と緊密な連携をとりながら、学生の進路相談に携わってもらっています。

しかし、昨今、社会人としての自覚、職業人としての責任感に欠ける学生が目につくようになってきていることが気がかりです。職場へ赴任する直前になって就職することを止めてしまったり、四月早々退職を申し出たりする学生が出始めています。これは、園や施設に大変なご迷惑をおかけするばかりでなく学生にとっても不幸なことです。このような事態を重く受け止め、さらにきめ細かな就職支援を行っていきたいと考えています。

（就職課長　斉藤政義）

就職DATA



		卒業者数（人）	就職希望者（人）	就職率（%）	進学者（人）	就職希望なし（人）
保育科		198	164	100	18	16
専攻科	保育専攻	9	9	100	0	0
専攻科	介護福祉専攻	24	24	100	0	0
計		231	197	100	18	16

（2009年3月31日現在）

平成20年度私立大学教育研究高度化推進特別補助（教育・学習方法等の改善）に6課題が採択されました。

保育者養成を支えるアドバイザー制度の拡充
―建学の精神から導き出された人間教育の展開―

（取組）

本取組は、平成18年～20年に本補助を受けて行われた。

本学のアドバイザー制度は、建学の精神「愛をもって互いに仕えなさい」のもと、保育者としての共存感覚と社会感覚をバランスよく体得させ、学生の人間的成長を支える目的に沿って、全教員がアドバイザーとして学生支援に当たる制度である。長年に渡って改善が積みかさねられてきたアドバイザー制度は、現在、各学年の教育目標や学生のニーズに沿うように工夫され、学習面、就職面、生活全般などを支援している。近年は、精神面の支援が必要な学生への対応に心を砕かねばならなくなっている。

最終20年度は、「自己理解と自己肯定感を高める関わりのモデルづくり」として、学生が携帯する「アドバイザーハンドブック」の企画作成が定着し、次の拡大プロジェクトに向けての構想を具体化し始めた。拡大プロジェクトとして、学生のコミュニケーションツールに歩みよるモデルを検討している。

（成果）

最終20年度、アドバイザーハンドブックは、学生委員の企画作成が定着した。12月頃より学生委員が学生への満足度調査や希望調査などを行い、その後、掲載内容を決定し、資料収集を行い原稿作成までのすべてを行った。「今日は何の日」「柳城知っとくコーナー」「保育情報」「栄養コーナー」「年齢逆引き」など、柳城独自の視点で収集した内容が掲載された。使用する学生のなかには手帳としてだけでなく日記として活用しているケースも多く見られ、「自己肯定感を育む」という本来の目的に沿う形で進化している様子が伺われた。

次の拡大プロジェクトは「ウェブコミュニケーションツール」として、学生とのコミュニケーションを効率的に行うため試案作成である。第一段階として、学校側から学生に向けての情報発信の側面を検討中である。将来的には、学校・教員・学生との相互コミュニケーションツールとして発展させたいと考えている。

（准教授　鈴木裕子）

保育者養成におけるマルチメディア教材の開発と活用
―『リアリティのある教育』を目指して―

（取組）

2年間で幼稚園教諭の免許と保育士資格を取得する本校のカリキュラムには、多様な学習内容が盛り込まれている。いかに授業内容の吸収効率を高め、保育者としての質を高めるかは重要な問題である。本課題では、教育内容がよりリアリティのあるものとなることを目指し、マルチメディア教材とその開発環境の整備を行ってきた。初年度には、従来から不足していた投影機器等を購入し、学生への情報伝達手段に関する整備を進めた。2年目は、教材作成環境を整え、積極的にマルチメディア教材を学生に発信していけるよう取り組んだ。3年目にあたる昨年度は、学生用、教員用PCメモリの増設を行うことができ、課題であった端末の処理能力が向上し、マルチメディア教材の使用環境が整備できた。また、大判プリンタも導入され、授業や教材作成で活用できるようになった。

（成果）

特に最終年度では、情報ネットワーク委員所属の教員が中心となり、授業などで使用するビジュアルコンテンツを作成することができた。例えば、乳幼児の移動能力の発達の様子を撮影した映像を取り込み、授業や自主学習で使用できるように編集を加えたケースがあった。また、幼稚園での子どもたちの様子を撮影したVHSビデオテープからキャプチャを行い、資料画像として活用したケースも見られた。まだ各教員が個人的に作成する程度ではあるが、マルチメディア教材の開発・加工例は着実に増えている。一方で、学生にも教材作成用PCの使用を許可した結果、学習や研究、またコンテンツ作成のツールとして活用された。例えば、総合演習で、自閉症児向けの教材開発とその実践を行った学生グループがあったが、教材を使用している子どもの映像を記録・観察し、報告書にまとめた。また、学園祭や卒業式でもスライドショーの作成などに活用され、学生による自主的なマルチメディア機器の活用の面でも成果があったと考える。

（元准教授　小平英志）

学生が創る「りゅうじょう子どもフェスタ」

（取組）

本取組は、平成18年～20年に本補助を受けて行われた。

平成20年度には第5回りゅうじょう子どもフェスタとして、平成21年2月7日（土）に本学体育館にて開催された。

「保育内容指導法：実践研究」の受講者の最終発表の場として設定され、学生自らが創作者、表現者となり、柔軟で均整のとれた保育観に根ざした感性豊かな保育者を育成することをねらいとしている。出演者である受講学生以外にも、託児または会場案内などの当日のスタッフとして、教員をリーダーとした学生スタッフ40名程度がその役割を担っている。また、「子育ておしゃべりサロン」として、本学教員による相談コーナーも別会場にて開設している。

午前、午後の2回公演には、送迎バスの運用によって附属幼稚園児だけでなく他の幼稚園及び児童養護施設の子どもたちも来場するようになった。高校生対象「入学前教育」の一環としても位置づけられ、本学への学

修意欲を高める機会となっている。

（成果）

「学生が創る」というコンセプトに基づき、発表される劇、人形劇、ミュージカル、パフォーマンスは「オリジナル」であることにこだわっている。その結果、子どもを飽きさせず大人も楽しめるという評判と、よく練られた構成と磨かれた表現力に対して高い評価を得ている。

学生は一連の活動を通して作品創作の苦労、表現する楽しさ、行事運営のための企画力と柔軟な行動力を培い、最終的に高い達成感を味わっている。また、このプロセスから得られた実践力、コミュニケーション力は、他者理解に基づく自尊感情を確立し、同時に子育てを支援する人材としての視野を広げる機会となっている。

「子育ておしゃべりサロン」には、現職の保育者からの相談、幼稚園の保護者からの相談申し込みもあり、地域貢献とあわせて保育者養成校としての役割も担っていける可能性が見出されている。

今後は、ワークショップや展示、遊びコーナーなども加えた複合的な行事として学生の保育実践力の充実と合わせ、地域との結びつきを深めた方向での発展を企画している。

（准教授　鈴木裕子）

図書館の開館時間延長と情報支援サービスの充実

（取組）

受講すべき授業が多く、図書館利用時間が限られている本学の学生に対して、適切な学習機会を提供することを目的に、夜間・休日の開館時間延長等のサービスの充実をはかる本事業は、2006年度に採択され2008年度が最終年度となる。ただし、2009年度も開館時間の延長サービスは継続して実施されている。

夜間開館（18時～20時）に続き、2007年度より土曜日・祝日等の休日特別開館が実施された。同年度より休日に行われる授業が急増したが、図書館は休日の授業日にはすべて9時から17時まで開館している。

なお、休日の図書館開館日数は、2007年度、2008年度ともに18日であった。

（成果）

本事業が採択された2006年度から2008年度までの本学図書館の利用状況を、三つの項目で見てみると次のとおりとなる。

●学生一人当たりの年間貸出数…2006年度22冊、2007年度20冊、2008年度16冊

●夜間開館時の利用者数（一日の平均）…2006年度33.7人、2007年度27.1人、2008年度21.2人

●全貸出回数のうち卒業生の占める割合…2006年度6.1％・2007年度4.0％・2008年度4.6％

以上のとおり本事業の実施にもかかわらず、利用者の減少傾向が見て取れる。原因は今のところ明らかではないが、開館時間延長サービスが無駄であるとはいえない。卒業生にとって、このサービスが、実務に役立つ情報収集に貢献することは間違いないだろうし、文頭の目的にあるように、在学生にとって授業時間外の図書館開館は、適切な学習機会を得るために有効であることは疑う余地がない。にもかかわらず、この事業がうまく生かされてこなかったのはなぜだろう？学生の気質の変化か？学習意欲の減退か？あるいは図書館側の問題か？レファレンス等一般的な図書館サービスに関して、本事業実施期間中業務に従事していたほとんどのスタッフが必要十分な能力を持った人材であり、その点に関して問題はあり得ない。では、学校全体の問題か？図書館に限らず授業後に学校に残っている学生が、以前に比べ減ったような印象も受ける。

いずれにしても図書館利用者減少の正確な原因を探り、開館時間延長サービスが有効に生かされるよう、対策を講ずることが課題である。

いのち（生と死）を学ぶ教育

（取組）

子どもの「いのち」を守り育てる立場になるに学生が、いのちをどう捉え、また、どのようにこの大切な使命を果たしていくべきかというテーマを6年前より希望者を募り、空き時間を利用し実施してきましたが、過密な時間割りのなかで実施が困難となり、一昨年より「総合演習」という通年授業の中で内容の充実を進めてきました。主な内容構成は、①講義、②講演、③グループワーク、④指導案作成と実践、⑤振り返りなどです。

①講義は、「子どもの死生観の発達について」「保育現場のいのちのかかわる事例と取り組みの紹介」「いのち（生と死）のテーマの絵本の紹介」「聖路加国際病院の取り組み（ビデオ）」その他。②講演は、絵本を通していのちの循環をテーマとしている絵本作家のお話。死別体験者のお話。異なる文化や宗教における「死」について。キリスト教における死と希望への教育、その他。③グループワークは、死のイメージや体験の分かち合い。自分の誕生についてのエピソードの発表。子どもの死生観を学びつつ指導案をどのように作成するかを話し合う、など。④指導案作成と実践は、夏休み中の課題として担当教員の指導を受け話し合ってきた指導案を完成し、教材を作成する。また、それを発表し、互いに評価し合う。それを元に修正したものを現場（幼稚園）で実践する。実践の報告会を行なう。⑤上記の取り組みは、その度に振り返りを行なっていますが、全プログラムの終了時にも全体の振り返りを行なっています。

（成果）

以上のような内容を通して、学生は、「死」が恐怖と悲しみというものだけではなく、いのちのつながりや生と死を通して人と人とのつながりの大切さに気づき、死をタブー視することなく、次世代を担う子どもたちへいのちをどのように伝えていくべきかを考えるきっかけとなっているように思われます。この取り組みは、中根淳子準教授との共同研究として行なっており、昨年度より文部科学省の「私立大学教育研究高度化推進特別補助」（3年継続）が認可されたことをご報告いたします。

（教授　尾上明子）

情報リテラシーを涵養する自習環境の整備

保護者会 News

保護者会長あいさつ

平成21年度保護者会長に就任いたしました。身に余る大任。そして創立学院110周年を昨年迎えられた、歴史と伝統ある本学に親子共々ご縁を頂きました事に心より感謝させて頂きます。学校のお役に立てますように、精一杯務めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。子ども達はそれぞれ自分の決めた目標に向かいスタートラインに立ち、走り出しました。日々喜びあり、悲しみあり、また新たな発見の連続だと思います。先日も幼稚園実習から帰ってきた娘が、祖父が「今日はどうだった?」と聞く前に、「今日子ども達に紙芝居を読み聞かせしたんだけど、子ども達が静かに聞いてくれなかった。それは自分に子ども達を引き付けることが出来なかったから、それと、その年齢にあっていなかったからだと思う」と口では言うものの、落ち込んでいる様子でしたが、またすぐ次の実践記録へと向かっていました。それでも、子ども達を責めるのではなく、自分を反省し、挫折しながらも保育士として答えて生きたいという娘の姿からも、「愛をもって仕えよ」の建学の精神を日々諸先生方は実践され、その心を子どもに浸透されている事を実感いたします。同じ喜びや悲しみを共に出来る大切な友達、先輩、後輩。そして先生方を大切に思い、さらなる柳城短期大学の発展と、そこで学ぶ子ども達のために皆様のお力添えをよろしくお願い申し上げます。

永井雅子

保護者会役員

会長	永井　雅子
副会長	加藤　恵美
会計監査委員	粕谷　悦子
	木村智恵子
委員	三輪　裕子
	根本　敏子
	平田　恵子
	大塚　慶子
	伊藤　雅恵
	福岡　真弓
	冨川　敬子
	岩井由美子
	眞浦　秀雄
	後藤　幸子
	田中美貴子

同窓会 News

同窓会だより

静かに降る雨にぬれて、あじさいの花が美しいころとなりました。

今春卒業された皆様はそれぞれの働きの場でいろいろな経験を通して成長されていることでしょう。新しく入学または進級された皆さんは有意義な学生生活をお送りのことと思います。昨年は創立110周年の記念すべき年でした。同窓会として母校の歩みのなかに加えて下さり、計画の段階から毎月の打合せ会議に参加でき共に歴史を共有するよろこびを感じました。記念事業としてピアノ練習施設が新設され、同窓会として協力することができました。かなりの成果がみられるとのことです。今年度は新型インフルエンザの流行や諸事情で総会は計画いたしませんでしたが、例年柳城祭での「ホームカミングディ」は予定しています。毎年クラス会やお友だち同士など遠方からお越しいただき、年々定着して楽しい雰囲気で一日中にぎわっています。もちろん先生方もおいで下さり、若い方々は先生との再会も楽しみのようでお話も弾んでいます。どうか同窓会を今一層盛り上げていただきお支え下さいますようお願いいたします。

青山　道

ホームカミングデーのお誘い

日時　2009年11月3日(祝)10:00～15:00
柳城祭開催時

場所　名古屋聖マタイ教会
1階ホール

無料
美味しいお茶とお菓子を用意しております。
在学生の皆様もどうぞおいでください。

同窓会だより(東京支部)

2009年度、のぞみの会東京支部について、ご報告させていただきます。役員が交代いたしまして、今年度より下記の方々が担当いたします。

代表　鎌倉寿子（昭和36年卒）
尾崎正子（昭和38年卒）　伊勢共栄（昭和38年卒）　川崎雪子（昭和40年卒）さん達です。

今年度の事業は7月3日（金）4日（土）1泊2日で、群馬県沼田市利根町にある、老神温泉　山楽荘　にて、同窓会を開催いたします。

東洋のナイアガラといわれる、雄大な天然記念物の吹き割りの滝がメインであり、併せて、上州の、自然と、人情が満喫でき、「脚気、川湯に瘡（かさ）老神」と伝えられた歴史のある名湯ということで大変楽しみです。同じ学び舎の友との交わりは、どんなに心和む集いでしょうか。同窓の方々とお話していつも思うことは、柳城の温かさであり、交わりの濃さです。神様に祝された110年の歴史を持つ学び舎を、同窓生は誇りに思います。

昨年名簿を作り直し、登録人数は。143名ですが、住所確認ができていない方々が60名くらいおられます。支部会員の住所は、関東地方に限らず、全国的に多彩を極めています。

皆様の中でも、会報を欲しい方は申し出てください。お送りいたします。そして、年1度の同窓会に参加してください。代表者の、電話を、お知らせしておきます。027（261）0950ですので、今後とも、東京支部のぞみの会をよろしく、ご支援くださいますようお願い申し上げます。

小松伯子

● 創立 110 周年 ●

附属柳城幼稚園

今年度は、91名（年長組28名、年中組31名、年少組32名）の園児に恵まれ、教職員も10名のうち、2名が新任（名古屋柳城短大卒）、5名が他園での経験者というメンバーでスタートしました。

4月の入園間もない頃は、年少組の部屋から園庭にまで泣き声が響いていましたが、子どもたちは先生に抱っこされたり、年長、年中児と一緒の自由遊びを通して、次第に、朝送って下さるお母さんにも手を振って別れることができるようになってきました。3年前から始めた週2回の2歳児教室や、数年前から行っている未就園児の親子教室に通っていた子どもたちは、泣くことも少なく自分の好きな遊びを探して楽しんでいます。1ヶ月ほど過ぎた頃は、三輪車を取り合ったり、自分の思い通りにならないことで、けんかが始るようになりました。そのような時は、年長児が仲裁に入ったり、遊具を譲ってくれる年中児もいて、子どもは子どもたちの中で育っていくことを感じます。

園庭では、年長組の子どもたちがバケツで稲を育てたり、トマト、なす、きゅうり、枝豆、じゃがいも、へちまなどが、たくさんの陽を浴びて育っています。室内では、ザリガニ、金魚、カブト虫の幼虫も子どもたちの大切なお友だちとなっています。

私たち保育者も、朝の礼拝で静かに祈り、預かり保育の子どもたちも帰った夕方は、子どもたちと共に過ごせた喜びと感謝の気持ちを持って祈り、一日の保育を終わります。

私は、毎日の保育の中で、保育者同士が助け合い、補い合っている様子を見て、幼稚園の中に優しい、温かい風が心地よく流れていることを感じます。

神さまにいつも守られていることに感謝し、大切な幼子と共に成長できる保育者でありたいと願っています。

2歳児教室『ちゅうりっぷ組』

5月から火・木曜日コース9名、水・金曜日コース10名の可愛い小さな子どもたちを迎えて始りました。

1日目はお母さんと離れることで全員大きな声で泣いていましたが、日を追うごとに、ままごと、パズルなどの遊びを見つけて楽しめるようになってきました。

二人の担任は、子どもたちになるべく手先を使わせたいとの考えで、母の日のプレゼントは子どもたちがシールを貼った小物入れを作りました。「ありがとう」と言って渡されたプレゼントにハンカチで涙をふいているお母さんもいらして、見ていた担任も涙ぐんでしまいました。子どもたちの手遊びをしているしぐさなど、何から何まで可愛いです。これからは少しづつ、パンツのトレーニングもやっていきたいと考えています。

未就園児教室『たんぽぽ組』

5月から始った、毎月1回（次第に参加される親子が増えてくるため、二つのコースに分けています。）の親子教室の初回は、親子で広告の紙で「魔法のつえ」を作ってちょうちょ、うさぎ、ぞうになってリズム遊びをしました。

子どもたちは素直に表現できますが、一緒にしているお母さん方の方が照れていました。園のHPを見たり、お友だちから聞いたと言って遠くから来て下さる方もいらして感謝です。

毎月配布する「たんぽぽ組便り」のお手紙の中にも子育てアドバイスを載せて、お母さん方の子育ても応援しています。

（園長　中野早苗）

● 創立31周年 ●

附属豊田幼稚園

名古屋柳城短期大学附属豊田幼稚園は、創立から30年が過ぎ、地域との繋がりも深く、皆さんに愛され支えられている幼稚園です。広々とした園庭には大きく育った樹木が枝葉を広げ、元気にのびのびと遊ぶこどもたちを見守っています。四季の美しさを感じながら、1年間を過ごすことができます。

春には、5本の桜が満開になり、その下で無邪気に遊ぶ子どもたちを見ていると、神さまは何と素晴らしいものを無償でくださっているのかと、感謝せずにはいられません。

自然がいっぱいの園庭では、子どもたちは遊びにことかきません。次々と遊びを考え出します。どろまんじゅう作り、どろんこ遊び、木登り、探検ごっこ、かくれんぼ、花や葉を使ったごっこ遊び、色水遊びなど、本当によく遊びます。畑やプランターには、子どもたちが植えた野菜が育っています。年少組はきゅうり、年中組はトマト、年長組はリーフレタスを植えて育てています。その他にも、すいか、枝豆、かぼちゃ、トウモロコシがあります。野菜が収穫できたら、みんなで食べます。自分たちが育てた野菜を、一緒に食べると心もあたたかくなりそうです。神さまを感じることができることでしょう。

果実のなる木も多く、小鳥たちがたくさんやってきます。近くには、豊田市自然観察の森があり、いのちの触れ合いができ、幼児期をこの環境で過ごせる子どもたちは、本当に幸せです。2009年6月より、2歳児教室「いちご組」を開始しました。現在7名の2歳児が、週2日やってきます。2歳児は、とても可愛く、その行動に驚いたり笑ったりしています。3歳児（年少組）は、自分たちより小さい子がやって来たので、少しお兄さん・お姉さんぶっています。自由遊びの中、自然な形で異年齢児とのかかわりができています。

今年度は、縦割りで過ごす時間をできるだけ多く作っていきたいと考えています。子どもたちが生きていくこれからの年月には、多くの困難があることでしょう。目に見える価値のみの判断にとらわれず、神さまが喜ばれる正しい道であるかどうかを感じてほしいと思います。子どもたちの心に、目には見えないけれど大切なもの（愛すること・信じること・受け入れること・尊敬・感謝・誠実さなど）を、幼稚園生活の中で子どもたちの心に育みたいと、教職員は力を合わせ頑張っています。そして、「子どもが主役」を、いつも忘れないようにしています。

今年度は、絵本や紙芝居、楽器にもよりたくさん触れ、子どもたちに豊かなものが残せるような一年間でありたいと思っています。

幼稚園生活で、のびのびと遊び、多くの友達や教職員と過ごす中で、自分らしさを出しながら調和のとれた人格形成がなされ、愛に満ちたあたたかい心と勇気をもって正しい事をする心が育つことが、私たちの願いです。

子どもの笑顔と小さく柔らかい手に触れることができる、この素晴らしい働きをくださった神さまにいつも心から感謝しています。

（園長　鈴木はる美）

● 創立 10 周年 ●

附属三好丘 聖マーガレット 幼稚園

マーガレット幼稚園は今年度開園10周年を迎えました。「互いに愛し合うわたしたち」の基本理念に基づいて、イエスさまの子どもへの姿勢をお手本に保育して参りたいと思っています。最近の子ども達の様子をお知らせいたします。

（園長　平松ちづ代）

自園給食がスタート！

園児たちが当園前の静けさの中、厨房からはトントンと小気味良い音が聞こえてきます。登園する頃にはいい匂いが・・・今年4月から安全で安心な給食を子ども達にと願って、地域の有機野菜や胚芽米などを使った自園給食が始まりました。保育参観後の試食会でも保護者の方々からは「合成調味料の味に慣れてしまっている昨今、素材の味がよく生かされていて『お母さんおいしいヨ！』と、普段家庭で食べないものも食べている子どもの様子が嬉しかった」というご意見などいただきました。煮干のお味噌汁でマーガレット幼稚園の子ども達は今日も元気一杯です。

（主任教諭　南川たか子）

縦割り保育（お散歩）

年少組の子ども達が入園してから早2ヶ月。幼稚園生活にも慣れ、お友だちと毎日元気に園庭を走り回っています。そんな年少組さんも園外に出るお散歩は初めて！頼りになる年長組のお兄さんお姉さんに手を繋いでもらってさあ出発です！

「わあ、どこにいくのかな？楽しみ～！」思わず笑みがこぼれます。「こんにちは♪こんにちは♪」・・・自然と鼻歌まで聞こえてきました。「ねえねえ、バスのお友だち？」

「名札の色がおんなじだね」と、少し緊張気味の年少組さんに年長組さんが一生懸命話かける姿がみられました。公園に到着！手を繋いでいたお友だちと一緒に遊びます。

「こっちのすべり台に行きたい？それとも砂場がいい？」と自分より、小さいお友達の意見を聞いてあげたり、ブランコで順番を守ることを伝えたり、すべり台が怖い小さなお友達をうしろから優しく抱きかかえて滑ってあげたりと、いろいろなところで、年長組さんの優しい姿とそれに従う可愛い年少組さんに出会いました。また、一緒にお出かけしようね！

（教諭　野々山実奈）

ログハウスが出来ました！

開園10周年記念事業として「おやじの会」で、ログハウスを作っていただきました。

園庭開放の5月3日、沢山の子ども達やお母さんに見守られて、板を切ったり釘を打ったりのおとうさん大工さん！見る見る内に壁や窓が出来、お家の中には机と椅子も出来ました。子ども達が板に描いた絵を切り取り、壁に飾りました。次の登園日子ども達は大喜び！早速机にカップを一杯並べ、おままごとが始まりました。毎日家の周りには子ども達が一杯です。もうすぐ屋根を赤色に塗ってもらう予定です。

（教諭　林　ひとみ）

附属幼稚園情報

運動会

柳城幼稚園
10月17日(土)雨天時は19日(月)

豊田幼稚園
10月3日(土)雨天時は6日(火)

三好丘聖マーガレット幼稚園
10月3日(土)雨天時は4日(日)

新入園児お知らせ

入園願書配布
9月1日(火)～

入園説明会
柳城幼稚園 9月26日(土)
豊田幼稚園 9月5日(土)
三好丘聖マーガレット幼稚園
9月26日(土)

願書受付
10月1日(木)～

子育て支援

各園にて子育て支援事業に取り組んでいます。
ぜひお問い合せください。

柳城幼稚園　(052)951-5080
豊田幼稚園　(0565)80-0198
三好丘聖マーガレット幼稚園　(0561)36-8373

2008年度 会計報告

資金収支の状況 （単位千円）

	科　目	2007年度	2008年度
収入の部	学生生徒納付金	593,070	606,993
	手数料	11,232	11,873
	寄付金	7,749	8,680
	補助金	171,193	180,903
	資産運用収入	3,025	6,348
	資産売却収入	700,000	800,000
	事業収入	26,567	26,390
	雑収入	8,294	36,738
	前受金収入	137,290	155,660
	その他の収入	32,766	8,313
	資金収入調整勘定	△ 151,652	△ 173,507
	前年度繰越支払資金	1,084,499	1,171,137
	収入の部合計	2,624,033	2,839,531
支出の部	人件費	431,323	455,530
	教育研究経費	148,316	157,448
	管理経費	34,404	46,361
	借入金利息	3,207	2,109
	借入金返済支出	116,513	10,930
	施設関係支出	3,112	21,507
	設備関係支出	15,599	11,904
	資産運用支出	699,218	800,916
	その他支出	11,650	10,513
	資金支出調整勘定	△ 10,446	△ 11,720
	次年度繰越支払資金	1,171,137	1,334,029
	支出の部　合計	2,624,033	2,839,531

消費収支の状況 （単位千円）

	科　目	2007年度	2008年度
消費収入の部	学生生徒納付金	593,070	606,993
	手数料	11,232	11,873
	寄付金	8,313	9,330
	補助金	171,193	180,903
	資産運用収入	5,349	6,474
	事業収入	26,567	26,390
	雑収入	8,294	36,738
	帰属収入合計	824,018	878,704
	基本金組入額	△ 47,628	△ 37,671
	消費収入合計	776,390	841,032
消費支出の部	人件費	430,072	450,114
	教育研究経費	211,049	219,282
	管理経費	35,200	47,174
	借入金利息	3,207	2,109
	資産処分差額等	426	97
	支出合計	679,954	718,778
当年度消費収支差額		96,436	122,254
前年度繰越 〃		413,114	316,678
翌年度繰越 〃		316,678	194,424

貸借対照表の推移 （単位千円）

		前年度末	当年度末
資産の部	固定資産	1,800,928	1,773,212
	流動資産	1,178,915	1,370,748
	（内、預金）	（1,171,137）	（1,334,029）
	資産合計	2,979,843	3,143,960
負債の部	固定負債	268,406	252,060
	（内、借入金）	（105,830）	（94,900）
	流動負債	163,309	183,845
	負債合計	431,715	435,906
資本	基本金	2,864,806	2,902,477
	消費収支差額	△ 316,678	△ 194,424
	資本合計	2,979,843	3,143,960

決算報告

今年度の収支は、帰属収支で159,925,433円の収入超過となり、収支の構成は、人件費率が51.2%、教育研究経費比率が25.0%、管理経費比率が5.4%、帰属収支差額比率が18.2%、という結果でした。

それを前年対比で見ますと、帰属収支で15,861,781円の増加となっています。その主な要因を見てみますと、学生・園児が29人の増加となって、学生生徒納付金が13,923,370円増加し、補助金が9,710,780円増加しています。支出面では、人件費が退職金要因を除き3,496,687円の減少、教育研究経費は8,233,590円の増加、管理経費は11,974,340円の増加となっています。収入の増加が支出の増加を上回った為に収支は改善しました。上記収支の結果、繰越支払い資金は162,892,719円増加しました。貸借対照表では、預貯金を中心に流動資産が増加する一方、償却が進んで有形固定資産は減少しました。結果として固定比率は65.5%と低下し、建物整備等キャンパス整備を行う時を迎えております。2009年度は、短大・幼稚園とも設備の改善を図る予定です。

自己資本比率は86.1%まで良化してきています。しかし、未だ194,424,149円の繰越消費収支超過額が残存していますので、その一掃に向け今後とも努力してまいります。（法人事務局長　塚田一宣）

2009年度 行事予定

月日	曜	名古屋柳城短期大学	柳城幼稚園	豊田幼稚園	三好丘聖マーガレット幼稚園
4月1日	水	入学式　新規採用辞令交付式			ニコニコ体操受付
4月2日	木	2年生授業開始　1年生健康診断			
4月3日	金				
4月4日	土				
4月5日	日				
4月6日	月	1年生授業開始			
4月7日	火				始業式
4月8日	水		始業式	始業式・半日保育	
4月9日	木		入園式	半日保育	入園式
4月10日	金		半日保育	入園式	
4月11日	土			園庭開放・ちびっこくらぶ	園庭開放
4月12日	日				
4月13日	月		給食開始（黄・青）・預かり保育開始	新入園児半日・在園児一日	給食開始・学年懇談会・年少1時降園
4月14日	火				学年懇談会・年中
4月15日	水				学年懇談会・年長
4月16日	木				誕生日会
4月17日	金				
4月18日	土	保育科2年生月曜日の授業			
4月19日	日				
4月20日	月		体操		2時降園
4月21日	火				
4月22日	水		誕生日会　寄生虫卵検査	誕生会	
4月23日	木	合同ゼミ（保育科）	クラス写真撮影		
4月24日	金	合同ゼミ（保育科）		保護者の会総会	
4月25日	土				おやじの会
4月26日	日				
4月27日	月			全員一日保育・子育て相談	
4月28日	火		体操・給食開始（赤）		
4月29日	水	授業日			
4月30日	木				
5月1日	金				
5月2日	土				おやじの会
5月3日	日				
5月4日	月				
5月5日	火				
5月6日	水				
5月7日	木		2歳児クラス入会式		誕生日会
5月8日	金		↓		親子遠足
5月9日	土	保育科2年木曜の授業	母の日参観	園庭開放・ちびっこくらぶ	予備日おやじの会
5月10日	日				
5月11日	月		体操・赤組1日保育開始		
5月12日	火			蟯虫検査	
5月13日	水	合同礼拝　保護者会委員会		↓	母の日参観・年長
5月14日	木	2年生健康診断		母の日参観・年長	母の日参観・年中
5月15日	金			避難訓練	母の日参観・年少
5月16日	土	保育科2年水曜の授業			園庭開放
5月17日	日				
5月18日	月	▲	体操・身体測定・内科検診		
5月19日	火			母の日参観・年少	
5月20日	水	教育実習Ⅱ	誕生日会		
5月21日	木	教育実習Ⅱ			
5月22日	金	教育実習Ⅱ	親子遠足・預かり保育なし	親子遠足	
5月23日	土	教育実習Ⅱ			
5月24日	日	ホームカミングディ			
5月25日	月		体操	子育て相談	
5月26日	火				クローバー会
5月27日	水			母の日参観・年中	
5月28日	木			健康診断（内科）	いも苗さし
5月29日	金			誕生会	
5月30日	土				
5月31日	日	▼			
6月1日	月		体操		
6月2日	火				
6月3日	水		誕生日会		
6月4日	木		歯科検診	キッズサッカー	
6月5日	金				
6月6日	土	辰巳芳子先生教育講演会			園庭開放
6月7日	日				
6月8日	月		体操		
6月9日	火				
6月10日	水				いきいき子育て講座
6月11日	木				誕生日会
6月12日	金				
6月13日	土	授業公開　金曜日の授業	父の日参観	親子ふれあいデー	スマイルデー　年中
6月14日	日				
6月15日	月		体操・短縮保育	代休	
6月16日	火		↓		クローバー会
6月17日	水		↓		幼稚園見学会
6月18日	木		↓		
6月19日	金		↓	避難訓練　個人懇談	幼稚園見学会
6月20日	土	保育現場見学Ⅰ 保育科2年水曜授業	幼稚園見学（短大生）		
6月21日	日				
6月22日	月		体操		
6月23日	火			シルエット劇場	幼稚園見学会
6月24日	水				シルエット劇場
6月25日	木				幼稚園見学会
6月26日	金			誕生会	
6月27日	土	保育科2年木曜の授業			
6月28日	日				
6月29日	月	保育実習Ⅰ	体操	子育て相談	
6月30日	火	保育実習Ⅰ			

2009年度 行事予定

月日	曜	名古屋柳城短期大学	柳城幼稚園	豊田幼稚園	三好丘聖マーガレット幼稚園
7月1日	水	保育実習Ⅰ（施設）	プール開き・お泊まり保育説明会	プール開き	プール開き
7月2日	木			年長・施設見学	
7月3日	金			避難訓練	
7月4日	土	専攻科入学試験			園庭開放
7月5日	日				
7月6日	月	保育現場見学2（各学生5泊6日）	体操・プール参観		
7月7日	火				クローバー会
7月8日	水		誕生日会		個人懇談年少
7月9日	木				誕生日会
7月10日	金			誕生会	
7月11日	土	保育科2年火曜の授業		園庭開放・ちびっこくらぶ	
7月12日	日				
7月13日	月		体操・プール参観	子育て相談	
7月14日	火				
7月15日	水		誕生日会		
7月16日	木				
7月17日	金		半日保育・お泊まり保育	終業式	終業式・キャンプファイヤー年長
7月18日	土	オープンキャンパス			
7月19日	日				
7月20日	月	授業日			
7月21日	火		終業式		ディキャンプ年長
7月22日	水				
7月23日	木				
7月24日	金				
7月25日	土	保育科2年月曜の授業			
7月26日	日				
7月27日	月			夏期保育	
7月28日	火				
7月29日	水				
7月30日	木				
7月31日	金				
8月1日	土				
8月2日	日	愛知県私立幼稚園統一試験			
8月3日	月		夏期保育（預かりあり）		夏期保育
8月4日	火	定期試験			クローバー会
8月5日	水				
8月6日	木				誕生日会
8月7日	金		夏祭り		
8月8日	土				夕涼み会
8月9日	日				
8月10日	月				
8月11日	火				
8月12日	水				
8月13日	木				
8月14日	金				
8月15日	土				
8月16日	日				
8月17日	月	保育実習Ⅰ（施設）	預かり保育		
8月18日	火				
8月19日	水				
8月20日	木				
8月21日	金				
8月22日	土				
8月23日	日				
8月24日	月		預かり保育		
8月25日	火			夏期保育	
8月26日	水			誕生会	
8月27日	木				
8月28日	金			年長ディキャンプ	
8月29日	土				
8月30日	日				
8月31日	月				
9月1日	火		願書配布	始業式・願書配布	始業式・願書配布
9月2日	水		始業式（半日）預かり保育なし	給食開始	給食開始
9月3日	木		1日保育開始		
9月4日	金				
9月5日	土	オープンキャンパス		入園説明会	園庭開放
9月6日	日				
9月7日	月		体操		
9月8日	火				クローバー会
9月9日	水		誕生日会		
9月10日	木				
9月11日	金			敬老参観日	敬老の日保育参観
9月12日	土		敬老の日参観（半日）	園庭開放・ちびっこくらぶ	
9月13日	日				
9月14日	月	後期授業開始	体操		
9月15日	火		縦割り保育		
9月16日	水				
9月17日	木				
9月18日	金		お店屋さんごっこ	避難訓練	誕生日会
9月19日	土				
9月20日	日				
9月21日	月				
9月22日	火				
9月23日	水				
9月24日	木				
9月25日	金			誕生会	
9月26日	土	AO入試	幼稚園説明会		入園説明会
9月27日	日				
9月28日	月		体操	子育て相談	
9月29日	火				
9月30日	水				

2009年度 行事予定

月日	曜	名古屋柳城短期大学	柳城幼稚園	豊田幼稚園	三好丘聖マーガレット幼稚園
10月1日	木		願書受付	願書受付	願書受付
10月2日	金				
10月3日	土	月曜の授業		運動会	運動会
10月4日	日				
10月5日	月		体操	代休	代休
10月6日	火			運動会(予備日)	クローバー会
10月7日	水		誕生日会		
10月8日	木				
10月9日	金			交通安全教室(年中)	秋の遠足
10月10日	土	保育科　火曜の授業		園庭開放・ちびっこくらぶ	入園面接
10月11日	日				
10月12日	月	授業日			
10月13日	火			交通安全教室(年長)	個人懇談　年長・年中 ↓
10月14日	水			キッズサッカー・芋ほり(年長)	
10月15日	木			芋ほり(年少)	
10月16日	金		半日保育(預かり保育なし)	芋ほり(年中)	
10月17日	土	指定校推薦入試	運動会(雨天時は19日)		
10月18日	日				
10月19日	月		運動会予備日		自由参観・年少
10月20日	火		運動会代休		自由参観・年中
10月21日	水				自由参観・年長
10月22日	木				
10月23日	金		芋ほり遠足(預かり保育なし)	遠足・避難訓練	
10月24日	土	推薦A入試			スマイルデー・年少
10月25日	日		教会合同バザー		
10月26日	月		体操	子育て相談	
10月27日	火				
10月28日	水			遠足予備日	芋ほり
10月29日	木			年長 六所山野外センター	
10月30日	金			誕生会	
10月31日	土	創立記念礼拝			
11月1日	日	創立記念日			
11月2日	月	柳城祭	体操		
11月3日	火	柳城祭			
11月4日	水	柳城祭後片付け			
11月5日	木	代休			幼保合同観劇会
11月6日	金				
11月7日	土	保育科2年木曜の授業		作品展　あきまつり	
11月8日	日				
11月9日	月		体操	代休	
11月10日	火				クローバー会
11月11日	水				振興大会
11月12日	木				
11月13日	金		音楽会		
11月14日	土			園庭開放・ちびっこくらぶ	作品展
11月15日	日				
11月16日	月	↑ ↑	体操	代休	
11月17日	火	保育実習Ⅱ（保育所） 教育実習Ⅰ ↑			収穫感謝祭
11月18日	水		誕生日会		
11月19日	木		感謝祭礼拝(自由参加)		レストランごっこ
11月20日	金		感謝祭パーティー	誕生会	
11月21日	土	推薦B入試　介護実習Ⅱ			
11月22日	日				
11月23日	月				
11月24日	火			移動動物園	
11月25日	水				
11月26日	木				
11月27日	金			避難訓練	
11月28日	土	↓			
11月29日	日	↓			
11月30日	月		体操	子育て相談	
12月1日	火				クローバー会
12月2日	水		誕生日会		
12月3日	木				
12月4日	金			誕生会	
12月5日	土	専攻科入試			園庭開放
12月6日	日				
12月7日	月		体操		
12月8日	火				
12月9日	水				
12月10日	木				
12月11日	金			ぱくぱく教室・避難訓練	
12月12日	土	保育科水曜の授業		園庭開放・ちびっこくらぶ	合同同窓会
12月13日	日	↓			
12月14日	月		体操	子育て相談	
12月15日	火			クリスマス礼拝	
12月16日	水	クリスマス礼拝		クリスマス礼拝	
12月17日	木			クリスマスコンサート	クリスマス礼拝・祝会
12月18日	金		半日保育・預かり保育なし	終業式	クリスマス礼拝・祝会
12月19日	土	月曜の授業	ページェント(聖劇)マルコ教会	キャロリング	
12月20日	日				
12月21日	月				
12月22日	火	冬季休業前講義終了	終業式		終業式　キャロリング
12月23日	水				
12月24日	木				
12月25日	金	降誕日(クリスマス)			
12月26日	土				
12月27日	日				
12月28日	月				
12月29日	火				
12月30日	水				
12月31日	木				

2009年度 行事予定

月日	曜	名古屋柳城短期大学	柳城幼稚園	豊田幼稚園	三好丘聖マーガレット幼稚園
1月1日	金				
1月2日	土				
1月3日	日				
1月4日	月				
1月5日	火				
1月6日	水	後期講義再開			
1月7日	木			始業式	始業式
1月8日	金		始業式(半日)預かり保育なし	給食開始	おもちつき
1月9日	土	保育科火曜の授業		園庭開放・ちびっこくらぶ	園庭開放
1月10日	日				
1月11日	月				
1月12日	火				
1月13日	水	ニューイヤーコンサート			
1月14日	木				
1月15日	金		ファーブル号来園	観劇会(人形劇)	
1月16日	土	保育科水曜の授業			スマイルデー年長
1月17日	日				
1月18日	月		体操	おもちつき	
1月19日	火				自由参観・年少
1月20日	水		誕生日会		自由参観・年中
1月21日	木				
1月22日	金	一般A・社会人入学試験	マラソン大会	誕生会	自由参観・年長
1月23日	土	保育科金曜の授業			入園説明会
1月24日	日				
1月25日	月		体操	子育て相談	
1月26日	火	▲ 定期試験			
1月27日	水	|			
1月28日	木	|			
1月29日	金	▼		避難訓練	
1月30日	土		おもちつき	入園準備説明会	
1月31日	日				
2月1日	月	▲	体操		
2月2日	火	|		年中 生活発表会・音楽会	
2月3日	水	|			劇遊び
2月4日	木	| 補講期間			劇遊び
2月5日	金	▼	劇あそび	年少 生活発表会・音楽会	
2月6日	土	子どもフェスタ			りゅうじょうこどもフェスタ
2月7日	日				
2月8日	月		体操		
2月9日	火				
2月10日	水		誕生日会		
2月11日	木				
2月12日	金				
2月13日	土	専攻科入学試験		園庭開放・ちびっこくらぶ	
2月14日	日				
2月15日	月	▲	体操		
2月16日	火	| 保育実習Ⅰ(保育)		▲	クローバー会
2月17日	水	| 介護卒業時共通試験		個	
2月18日	木	|	作品展	人	お別れ音楽会
2月19日	金	|	▼	誕生会 懇	
2月20日	土	|		談	
2月21日	日	|		会	
2月22日	月	| 一般B入学試験	体操・短縮保育・個人懇談	子育て相談 ▼	
2月23日	火	|	|		
2月24日	水	|	|		
2月25日	木	|	|		
2月26日	金	|	▼	避難訓練	
2月27日	土	▼			
2月28日	日				
3月1日	月		体操	卒園礼拝	
3月2日	火	進級・卒業判定会議			
3月3日	水		誕生日会	ひなまつり	ひなまつり
3月4日	木				
3月5日	金			誕生会	お別れ会
3月6日	土				園庭開放
3月7日	日				
3月8日	月		体操	子育て相談	
3月9日	火				
3月10日	水		卒園礼拝(青組)		
3月11日	木			年中感謝礼拝	
3月12日	金			年少感謝礼拝・避難訓練	
3月13日	土			園庭開放・ちびっこくらぶ	
3月14日	日				
3月15日	月		体操	お別れ会	
3月16日	火				
3月17日	水				
3月18日	木	終業礼拝	お別れ会・預かり保育終了	卒園式	卒園式
3月19日	金	卒業式・修了式	半日保育		
3月20日	土		卒園式		
3月21日	日				
3月22日	月				
3月23日	火		修了式	終業式	修了式
3月24日	水			同窓会	
3月25日	木				
3月26日	金				
3月27日	土				
3月28日	日				
3月29日	月				
3月30日	火	新学期オリエンテーション			
3月31日	水	新学期オリエンテーション			

イベント情報

オープンキャンパスぜひ学校見学を

本年度は、7月18日（土）、9月5日（土）11月3日（祝）の3回、オープンキャンパスを行います。

7月と9月は、入試内容についての説明、学生の体験発表、模擬授業、子どもの遊びやチャペル体験、 相談コーナー等を、11月は学校祭と同時開催で校内自由見学や個別相談を予定しています。 また9月と11月は小論文対策講座を実施します。

当日は、本学の大勢の学生がおこしいただいた方々をサポートします。

柳城の明るいアットホームな雰囲気をはだで感じていただける絶好の機会です。保育を志す方々のおこしをお待ちしています。お知り合いの方にぜひおすすめ下さい。

New Year Concert

昨年度までは12月のクリスマスの時期にお送りしておりました名古屋柳城短期大学、よみきかせクリスマスコンサートは本年度、2010年1月13日〔水〕ＰＭ6:00からニューイヤー・コンサートと名称を改めまして名古屋市青少年文化センター〔ロフト 11 階〕にて開催の予定です。第１部は本学音楽担当教員による、ドイツの作曲家メンデルスゾーンの生誕200年を記念して「メンデルスゾーンの生涯とその作品」をお送りいたします。第２部は柳城ならではの恒例の音楽絵本「ピーターと狼」〔プロコフィエフ作曲〕です。第３部として在校生のハンドベルの響きとコーラスをお送りします。卒業生の皆様、新春の一夜を美しい音楽でお過ごしいただけたらとご案内申し上げます。多くのお知り合いやご友人とのご来場を心よりお待ち申し上げます。尚、このニューイヤー・コンサートは同窓会『のぞみの会』のご支援も受けております。入場無料です。

第5回りゅうじょう子どもフェスタ

「りゅうじょう子どもフェスタ」 は進化していきます

2009.2.7 （土）本学体育館にて開催されました。今年のプログラムは３作品。

劇「宝はだれのもの」。海辺の村にある宝を、村人、海賊、おばけたちが奪い合います。最後はあっ！と驚く大どんでん返し！

パフォーマンス「ぼくのゆめ」。和太鼓、フルート、ギター、ドラムなどの生演奏にのって、めくるめく「ぼくのゆめ」が繰り広げられました。漫才師、ダンサー、コンテストの審査員、ついには大統領にも！

ミュージカル「レアナクチャッチ！ポーラ 10 歳の冒険」。レアナクチャッチは魔法の呪文。ルル王国の王子ポーラが旅に出ます。不思議な森に入り込んだポーラを待ち受けていたものは？本当の勇気とおもいやりを伝えました。

構成、脚本、音楽、衣装すべてオリジナルです。子どもたちの反応にあわせて台本にないアドリブが飛び出したり、衣装の着替えが間に合わず袖幕の指示を受けて、一人芝居が始まったり。さすが柳城生！今年の2年生はチームワーク抜群。

第６回りゅうじょう子どもフェスタ（2010.2.6（土）本学にて）は、これまでの学生の表現発表会を軸にしながらも、他のイベントを同時開催する「子どもたちのためのフェスタ」にしようと計画中です。本学ホームページでお知らせいたします。どうぞお越しください。

（お問い合わせ先：名古屋柳城短期大学入試広報課または鈴木裕子研究室）

柳城祭

名古屋柳城短期大学在校生の最大のイベント「柳城祭」が 11月２日〔月〕、３日〔祝〕に開催されます。第１日目は学生の為のお祭り、第２日目は外部のお客様をご招待してのお祭りです。毎回メインイベントを中心に学生たちの手による学生たちの為のお祭りです。昨年からは在校生の保護者の方々にお集まり頂き「保護者懇談会」も同時に開いております。学生の学校生活やご家庭の様子、就職、進学について等、保護者の方々と本学教員とで、いろいろな情報を交換したいとの想いからの開催です。卒業生の皆様方にとっても懐かしい学生生活を思い出していただける一時となる事と存じますので是非大勢の方々とお遊びにご来校ください。また本年度は「紙芝居フォーラム」主催の紙芝居コンクールの入賞者の表彰式、紙芝居の実演も同時に開催されます。目白押しのイベントを是非お楽しみください。